



国立大学法人

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

第3回 長崎大学

2011

ホームカミングデーのご案内

～Welcome Home to Nagasaki University～

講演会『長崎－上海航路開設への期待』

講演者:長崎県知事 中村 法道



平成23年
11月19日 土

【長大祭:11月19日 土～20日 日】

長崎大学文教キャンパス内

ホームカミングデーとは

卒業生の皆様に母校長崎大学に帰ってきてもらい、大学の近況に触れ、懐かしい恩師や学友との再会と交流・親睦を深めていただくために、大学が卒業生の皆様をお招きするものです。



■共催／長崎大学・長崎大学全学同窓会

■協力／長崎大学学園祭運営委員会

日 程

13:00 受付開始 【中部講堂】

※参加希望者についてはキャンパスツアーを行います。
[附属図書館古写真展示室、下村脩名誉博士顕彰記念館]

14:00 第3回ホームカミングデー開会 【中部講堂】

第一ステージ: ロマンツアー合唱団演奏

14:20 長崎大学全学同窓会会長・長崎大学長挨拶

14:30 講演会『長崎－上海航路開設への期待』

講演者:長崎県知事 中村 法道

16:00 休憩(10分)

16:10 第二ステージ: チアリーディング部演技

16:30 第三ステージ: 長崎マンドリンクラブOB&OG会演奏

17:00 休憩(10分)

17:10 ホームカミングデー・パーティー開会 【学生会館食堂2階】

開会の挨拶及び乾杯 参加費 ¥4,000

17:20 第四ステージ: よさこい部「突風」演技

〈歓談〉

18:20 閉会の挨拶



長崎大学長
片峰 茂

長崎大学ホームカミングデーは、今回で3回目の開催となります。ホームカミングデーが、同窓の皆様の意識の中に年行事として定着し、年々発展することを期待します。今回も、同窓生の一員でもある中村法道知事にご講演いただくほか、盛りだくさんの企画を準備いたしました。多くの同窓の皆様にご参加いただき、旧交を温め、そして母校の現在を皮膚感覚で感じていただく機会としていただければ幸いです。

前回の開催から約4ヶ月を経た本年3月11日、国のあり方ひいては大学のあり方を根底から問い直す未曾有の災厄が、この国を襲ってしまいました。東日本大震災と引き続き東京電力福島第一原子力発電所の爆発事故です。その後の、長崎大学の被災地支援活動は、迅速性、機動性そして質と量、いずれをとっても全国の大学のなかで際立っていました。長年にわたって先輩たちのご努力により培われてきた長崎大学の個性が、この未曾有の危機に際して突出したのだと思います。本学の個性、それは「現場に強い大学、危機に強い大学、行動する大学」です。

大震災後のこの国は、変わらなければ、今から直面する困難を克服することはできません。変革が待望される時代、困難を克服し未知の領域を切り拓くべき時代に、大学が担うべき役割は決定的に重要です。新しい価値観＝ブレイクスルーの創造や、創造・発見を困難の現場に適用するための実践科学、そして、創造力と突破力を兼ね備えた次世代人材の育成が喫緊に問われています。

長崎大学も、その任を負うべく、志しを新たにしています。同窓の先輩の皆様こそ、長崎大学の最大の理解者であり応援団です。今後とも、ご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

■ 講演者紹介

『長崎一上海航路開設への期待』



長崎県知事
中村 法道氏

このたびは、我が母校での講演の機会をいただき、大変光栄です。長崎はかつて、夢と志にあふれる若者が集い、学んだまちでした。大正から昭和初期にかけては上海との間に日華連絡船が就航し、世界に開かれた国際ゲートウェイ都市として栄えておりました。

いま、長崎～上海航路が復活を遂げようとしています。

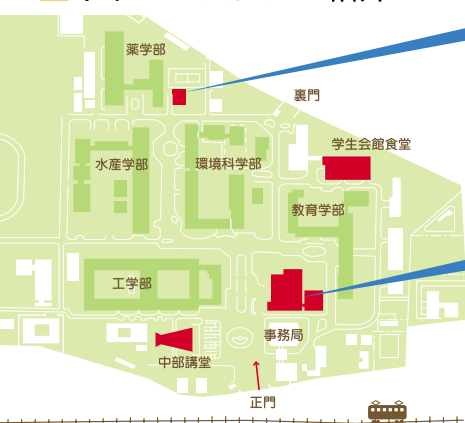
「アジアの時代」といわれる今日、航路の復活により経済成長著しいアジアの活力を取り込み、長崎県経済の活性化に結び付けていく必要があります。

また、航路がもたらす人的交流の拡大により、夢と志にあふれる若者が海外から集い青少年の相互交流が深まっていくこと、さらには、長崎が新たな国際ゲートウェイ都市として生まれ変わることにもつながっていきます。

折りしも、今年は上海市と長崎県の友好交流関係樹立15周年、中国の辛亥革命100周年に当たります。この節目の年に、ここ長崎で上海航路が復活する意義について、歴史的背景や今後の可能性などを交えながらお話いたします。

〈プロフィール〉 昭和25年11月29日、長崎県有家町（現南島原市）生まれ。昭和48年3月に長崎大学経済学部を卒業後、同年4月長崎県採用。企画部国際課長、福祉保健部県立病院課長、企画部企画調整課日蘭交流400周年事業推進室長、総務部秘書課長、対馬支庁長、農林部長、総務部長を経て平成21年4月に長崎県副知事に就任。平成22年3月2日から現職。

■ キャンパスツアー紹介



下村脩名誉博士顕彰記念館 （薬学部／柏葉会館）

下村脩名誉博士顕彰記念館には、ノーベル化学賞メダルのレプリカ、ノーベル賞受賞式の写真パネルのほか、受賞者およびゲストのみに配られる晩餐会招待状などの貴重な資料も展示しています。

附属図書館古写真展示室

附属図書館1階の古写真展示室には、本学の創基である小島養生所の第2代教頭A.F. ボードインが撮影・収集したものをはじめ、幕末から明治期に撮影された貴重な古写真をパネル展示しています。

■ お問い合わせ

長崎大学広報戦略本部全学同窓会支援室 TEL.095-819-2154 FAX.095-819-2156
E-mail: zendousou@ml.nagasaki-u.ac.jp URL: <http://www.nagasaki-u.ac.jp/>

ステージを彩る 学生サークル



第一ステージ：ロマンツァー合唱団演奏
その伝統に誇りを持ち、合唱を通じて、音楽の楽しさを多くの方に広められるように活動しています



第二ステージ：チャリディング部演技
長崎のチャリダーとして、皆さんに笑顔や元気を届けたい



第四ステージ：よさこい部「突風」演技
若さあふれる元気とパワーで、仲間と踊れる一瞬一瞬を大事に、精一杯全力で演舞をしていきたい

長崎大学経済学部マンドリンクラブ OBを核に発足した 『長崎マンドリンクラブOB&OG会』



第三ステージ：長崎マンドリンクラブOB&OG会演奏
「長崎」というキーワードで夢とふる里を運ぶオーケストラであり続けたいと思っています

長崎マンドリンクラブOB&OG会は、長崎大学経済学部マンドリンクラブOBの呼びかけにより1995年10月に発足しました。その際、学生時代に指導や演奏会のお手伝いをしていた長崎市内四短大（長崎県立、活水、純心、長崎女子）マンドリンクラブOGにも参加を呼び掛け、各大学のOB&OGによる『長崎マンドリンクラブOB&OG会』として設立しました。その後、長崎大学マンドリンクラブ（全学部で構成するマンドリンクラブ）OB・OGや長崎に何らかの係わりを持ち、この会の趣旨に賛同する方の参加も得て現在に至っています。

現在の我々の一番の願いは、昭和40年代を中心に長崎であれほど盛んであった学生のマンドリンクラブが消滅して10年近く経ちますが、一抹の寂しさを禁じえません。いつの日か『長崎大学マンドリンクラブ』が復活して大学のキャンパスでマンドリンの音色が響き渡る日が来ることを切に願うものです。